

小型ヨット 〈ハンザ〉 とは

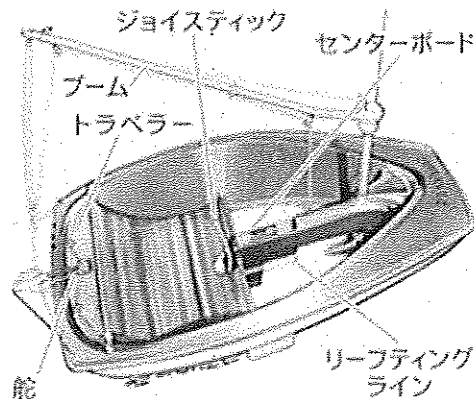
●誰でも楽しめる小型ヨット、ハンザ

ヨットの中でも小型の1~2人乗りのものを『ディンギー』と呼びますが、これは簡単に操れるものではありません。そこで、オーストラリアのクリス・ミッシェル氏が『誰でも乗れるように』と考案したのがハンザです。

このハンザは、子どもから高齢者の方、障害者の方も難しい練習などをせず簡単に帆を操って船を走らせることができます。

2001年4月には日本初のセイラビリティが設立され、国内のハンザの普及がスタート、社会福祉として大変有意義な活動になっております。

次に、ハンザについてご紹介します。

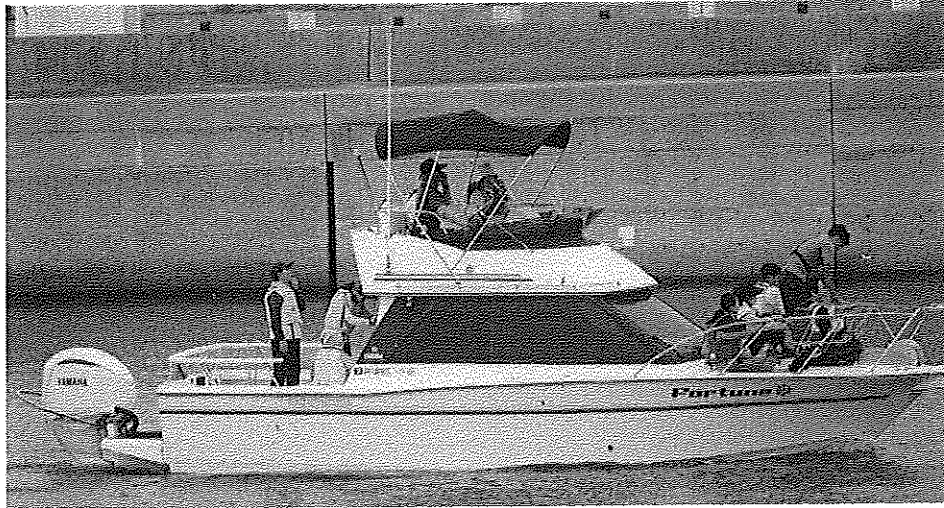


セーラーはハンザの安定した低い位置に座るので、とても操縦しやすく安定性に優れています。また、ナイロンの帯紐で作られているハンモックのようないすに座り、センターボードケースの両サイドに足を投げ出すこともできます。

なお、ソケットに差し込まれたマストは、リーフドラムが取り付けられていますので、砂浜の上に乗り上げておくときは簡単にセールを巻くことができます。

★当日体験する船舶

●大型クルーザー（10人乗り）



●小型ヨット＜ハンザ＞（2人乗り）



●先導モーターボート＜カナロア＞

